

東和便り



2020年度 第 2 号

2020.5.18 和歌山市立東和中学校

を明確にしたものであり、学校や地域の実態に即したものとしています。その重点目標として、「心豊かな人間性の育成」「確かな学力の育成」「たくましく生きる力の育成」「地域とともにある学校づくり」を設定しました。

めざす生徒像として、「自立し、共同体感覚を持った生徒」を掲げました。中学生の時期は、人生に関わるいろいろな問題についての関心が高くなり、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索し始める時期です。「人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるか」。

そもそも人生は、誰かに任せられるものではありません。誰かの人生ではなく、一人一人が自分自身の人生として引き受けなければなりません。他者や社会、周囲の世界の中でその影響を受けつつ、自分を深く見つめ、在るべき自分の姿を描きながら生きていかなければなりません。わからないこと、できないこと、うまくいかないことを大切に、援助を求めたり、援助を求められたら応えるなど、聴き合う関係をつくり、自己への執着を他者への関心に切り替え、他者を仲間とみなすことができたり、多様性を受け止め、すべての人が抱える困難や痛みを想像し、共感する等、共生の視点を持つことができるといった共同体感覚を身につけ、主体的に自分の人生をよりよく歩もうとする自立した生徒像をめざします。

具体的には、東和中学校の生徒は、
変化や課題に積極的に向き合う
他者とともに課題を解決したり、問題を乗り越えようとする中で、適切な関係を築ける
様々な情報を収集し見極め、得た情報・知識を使って情報を再構築する
 といったことをめざします。

東和便りは、東和中学校ホームページにも掲載しています。

<http://www4.wakayama-wky.ed.jp/towa/>

